

にし

西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2008・7



まちの人

おたのしみ劇場ガウチョス 代表

ほりぐち えいいち
堀口 栄一さん

○おたのしみ劇場ガウチョス

堀口さんと団員の田中美好さんの二人組人形劇団。西区に拠点を置き、道内各地の劇場や図書館、保育所などで、子どもから大人まで楽しめるマリオネット（糸で操る人形）劇の公演をしているほか、マリオネットのワークショップ（体験講座）も行っている。

公演情報などの詳細は下記ホームページで。
<http://www.gauchos-puppet.com/>



「生で触れることで初めて本当の良さが分かるものってありますよね」と語る堀口さんは「演じる人と見る人の交流がある、生の劇の面白さを味わってほしい」との思いを胸に、道内各地を回って人形劇を公演しています。「見ている子どもたちの反応がダイレクトにぶつかってくる。こちらもそれに反応できる。それが楽しい」と堀口さんは目を輝かせます。そこには、テレビでは体験できない心の交流があるようです。

堀口さんが人形劇を始めたのは十年前。大学時代に演劇活動を通じて知り合った仲間



■人形劇のオープニング。この後主役は人形にバトンタッチ。写真左が堀口さん。

生の面白さを感じてほしい

と、商店街のお祭りの出し物としてマリオネット劇を披露したのが始まりでした。以来、マリオネットの面白さに引かれ、当時の仲間である田中さんと二人で、二〇〇一年にガウチョスを旗揚げします。「人形の制作から公演、営業まですべて二人でこなさなければならぬので大変」とのことですが、子どもたちの笑顔を元気の源に、年間四十回ほどの公演を行っています。

結成から七年たった今年五月には、念願だった海外公演をスロバキアで実現しました。「人形劇の先進地であるヨーロッパで、自分たちの人形劇を試してみたかった」と話す堀口さんは「日本語で伝わるか不安でしたが、笑いのポイントでちゃんと笑ってくれるんですよ。『あ、伝わってる！』って感じました。上演後に、スロバキアの子どもたちが盛んに話し掛けに来てくれたこともうれしかったんです」と満足そうに振り返ります。

今後の抱負は「これからも見てくれた人の心に残るような作品を作って、子どもから大人まで多くの人に、僕らの人形劇を見てもらうこと」と堀口さんは語ってくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係上欄へ。